

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達センターいるか かせだ			公表日	令和7年 2 月 28 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動毎に構造化することで、広いスペースを確保できています。また、個別支援を行う際にも、部屋が分かれており、集中して行うことができます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	基準定員10名に対し2名の配置となっていますが、利用者の人数や特性に応じて職員の配置をしています。	・職員が休みの時など見守り等十分に確保できない時があると思う。 ・職員数が足りていないと感じる日もある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		広さもあり、活動ごとに行う場所を固定しています。また、極力物を置かないようにし、工夫をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		使用した玩具類の消毒、手洗い、うがい等したとの洗面台の消毒を毎回行っています。また、広さも十分にあるため、活動スペース、食事など摂取する部分と分かれています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別の部屋があるため、必要に応じ使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎回の申し送り、振り返りを行い日々行っています。また、事業所内でのミーティングや法人の全体ミーティングにて情報の共有を図りながら、問題点や業務改善に繋がっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		年に1回アンケート実施しています。結果は職員間で共有しながら、業務改善を行っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		ミーティング等を行い意見交換や業務改善を行っています。また、勤務時間帯で放デイに参加できない職員に対しても意見してもらう機会を設けています。	共通認識はできていますが、積極性に欠けることが多いです。今後、管理者が積極的に現場には入り指導等を行ってまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	年に2～3回委員会を行っています。	外部評価を行う機会が少ないため、来年度は調整を行い評価を受け、業務改善に努めます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		内部、外部研修等に参加できるように努めています。	研修の時間帯により、参加が難しいことも多く、今後は職員の確保を行い、研修に参加できる機会を多く取り入れてまいります。
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		支援プログラムを作成、ホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		本人や保護者様や学校関係モニタリング時の聞き取りを元に計画書を作成しています。また、送迎時やお迎え時に、保護者様の困り感などお聞きしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		日頃からの、こどもたちの様子課題点など職員間で話し合いながら、保護者様と面談を行い計画書作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		計画書は職員間で共有。計画書に沿いながら支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		年齢的な発達をもとにアセスメントを行っています。また、ご家庭で医療機関で発達の検査を行った際には、資料を共有してもらい支援に役立てています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		作成している個別計画書には、必要な支援の項目、具体的な内容を記載しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		毎月、こどもたちの希望も取り入れ職員と意見を出し合いながら活動プログラムの立案を行っています。	職員間でもコミュニケーションを取りながら、色々な意見を出し合い活動を行って行きたいです。

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		多彩なプログラムを準備しています。また、継続的に行う活動もありますが、ねらいの変更を行い、飽きないように努めています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		集団で行う活動を毎回、取り入れています。また、個々に応じた個別活動や機能訓練も行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎回の申し送りを行っています。送迎の確認や活動のねらい、役割分担を行いながら支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		状況により申し送りが難しいときは、次の日に振り返りを行い、気付いた点、問題点、子ども達の様子など共有し、次の支援に役立てるようにしています。また、保護者様からの伝言や気になったこと等ノートに記載し共有できるようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回、記録は行っています。また、記録の漏れがないように、再度、確認も行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		相談支援事業所と連携を図りモニタリングを行い、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		発達の段階に応じて集団、個別活動の中に組み込み支援を実施しています。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		自分で考え伝える大切さを、声かけています。また、ことばで上手く表現ができない利用者に対しては、絵カードなど使い選択できるように工夫しています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達管理責任者が出席しています。会議で行われた内容は、記録し全職員に周知を行い支援に役立てています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		その都度、情報を共有しています。また、必要には、福祉関係者ごと自宅を訪問し、家族支援を行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時には、日々の様子など伺っています。また、連携会議にて情報の共有の場を設けてます。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前の担当者会議を行い情報の共有を図っています。また、支援シートを作成し就学先への情報提供も行っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		移行支援シートを作成し、情報の提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		研修などに参加して個々のスキルアップに繋がるようにしています。参加した職員には、報告書を作成し情報の共有を図っています。	研修など積極的に参加し、職員のスキルアップの向上に努めます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		学童クラブとの交流は今現在ありません。地域での行事がある際は参加しています。	学童クラブなどの交流が難しい時は、地域の公園などにこまめに出向き、一緒に遊べる機会を設けていきたいと思えます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○			時間を調整しながら、積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時やお迎え時に日々の様子を伝えています。また、必要に応じて、面談を行なっています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		研修までには至っていません。外部研修などのご案内がある際には、情報の提供を行っています。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っています。また、変更等ある際は、別紙にてお知らせをしています。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントを行い、ご家族様の要望をお聞きし、意向を共有しています。また、お子様からは、どうしたい、なりたいたいなど会話の中で聞き出せるようにしています。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		アセスメントを行い、ご家族様のニーズをもとに計画書を作成し説明、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に面談を行っていますが、必要に応じて多く面談を取り入れたり、保護者様からの依頼にて面談を行い、アドバイスを行い、職員にも周知し支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		○	父母の会など行っていませんが、法人内での親子ふれあいなど行っています。きょうだい児にも参加しやすい内容になっています。	保護者同士の集まる機会を増やし、交流に努めたいです。また、きょうだい児にも参加できるようなイベントなども開催していきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		今の所、苦情になることはありませんが、日々の様子を保護者様にお伝えしています。苦情があった時は迅速に対応できるようにしています。	送迎時、こどもたちの様子などお話をしていますが、説明不足な面もあり、再度、連絡が来たこともあります。今後は、伝え方など指導を行い、しっかり伝わるようにしていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に一回のお便りや、ホームページ、SNSの活用にて情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書棚に個人情報を入れてあります。請求書など、名前が記載されている配布物は2度確認を行い、配布するように努めています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		1人ひとりの特性に応じ、絵カードや文字にて伝達を行ったり、日中のスケジュールも分かりやすく提示しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	法人全体では実施していますが、事業所内では実施できていません。	職員間で話し合い、イベント等にて招待する機会を作り、地域との交流を図るようしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各委員会を設置し、マニュアルを基に定期的に訓練も実施しています。	保護者様に対しては、契約時や訓練を行った際には、お知らせしていますが、認知度が低いいため、定期的に周知したいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		年に3回、避難訓練等を実施し、いつ訪れるか分からない災害に迅速に対応できるように努めています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		児童票にて記載して頂いています。服薬されされている薬が変更もしくは量が増えた際にも、保護者様からお伝えして頂くようにしてお子様の様子を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食物アレルギーお子様はおりませんが、提供する、おやつやクッキングなどは指示書をもとに保護者様と話し合い、十分に配慮していきたいです。	おやつ、クッキング等に関しては、摂取した後の、観察を怠らないように努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、計画に沿って支援を行っています。また、必要に応じて見直しを行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		外活動など、こどもの特性に応じ職員の配置が難しい時は予定を変更することをお伝えしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット発生時には書類を作成し、職員間で話し合い、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		年3回委員会を行い、職員に周知しています。また、職員によるアンケートを三カ月に一度行いながら、虐待防止に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		今現在、身体拘束の、お子様はいませんが、法人内で虐待防止委員会での話し合いなど行っています。		